

2023年2月26日(日)

日本キリスト教団 **久宝教会**  
第65巻第45号(通算3327号)  
教会設立 1959年6月14日

〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:00-10:20 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください  
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

# しゅうほう 週報

教会標語

かみさま ひと とち  
神様がすべての人と共におられる  
ことを証ししていく教会



ホームページ「久宝教会」  
(ウェブサイト)

<http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai>  
【連絡先(牛田)】090-9161-4027

[kyuho-church@koinonia.or.jp](mailto:kyuho-church@koinonia.or.jp)

神はこの世を大切に思い、ひとり子を差し出した。ひとり子に信頼をもってあゆみを起こす人がみな、滅びることなく、永遠のいのちを得るようになるためである。(ヨハネによる福音書3:16)

## レント(受難節) 第1主日礼拝

《礼拝はインターネットで中継配信いたします。ホームページにてどなたでもご視聴いただけますので、それぞれの場所で共に礼拝をしていただけます》

ぜん そ う もくとう  
前奏(黙 禱) AVE VERUM CORPUS (©著作権消滅)

まね ことば  
招きの詞  
ローマの信徒への手紙 5章 15節

はじめの詞

さん び か  
賛美歌 21-305番「イエスの担った十字架は」(1節のみ) (©JASRAC)

しょうとう ことば  
消灯の詞

さん び か  
賛美歌 21-390番「主は教会の基となり」(©教団讚美歌委員会)

せい し しょ  
聖書 創世記 3章 1-7節

いの  
お祈り

さん び か  
賛美歌 21-528番「あなたの道を」(©著作権消滅)

メッセージ 「その実を食べたのなら……」 岡嶋 千宙 伝道師

さん び か  
賛美歌 21-419番「さあ、共に生きよう」(©JASRAC)

しゅう いの  
主の祈り 21-62番「天にいます 私たちの父」(©教団讚美歌改訂委員会)

たんじょうしゃしゆくふくしき  
誕生者祝福式(\*) 岡嶋 千宙 伝道師

ささげもの  
献げ物(\*\*)

は け ばん かみ めぐ う  
派遣 21-91番「神の恵みゆたかに受け」(1節のみ) (©JASRAC)

しゆくふく  
祝福 岡嶋 千宙 伝道師

う そ  
後奏 アーメン コーラス (21-40-6番) (©著作権消滅)

ほう こ  
報告 (4頁をご参照ください)

《お隣と間隔をあけて、席にお座りになったままで礼拝にご参加ください》

\* みんなで2月生まれの方(と今年度2月までにお生まれの方)を祝福いたします。ご遠慮なさらず、どなたでもお申し出ください。

\*\* 「献げ物(献金)」は参加費ではございません。

受付に献金箱がございます。ご用意のある方のみ、お献げください。

招きの詞　ローマの信徒への手紙　5章　15節（聖書協会共同訳©日本聖書協会）

しかし、恵みの賜物は過ちの場合とは異なります。一人の過ちによって多くの人が死ぬことになったとすれば、なおさら、神の恵みと一人の人イエス・キリストの恵みによる賜物とは、多くの人に満ち溢れたのです。

始めの詞

イエス・キリストが死から引き起こされたイースターまでの日曜日を除く40日間を「受難節」と言います。この期間にはイエス様の生涯や死の意味を考え、イエス様に従うとはどういうことなのかを聖書から聴きます。クリスマスの前には毎週ろうそくの光を灯しました。レントの期間はろうそくの光を消しながら礼拝します。神と人とを大切にされたイエス様に思いをはせましょう。

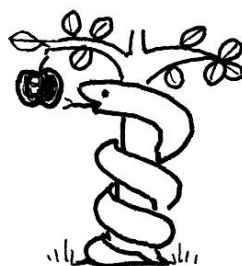
消灯の詞　（参照：ヨハネによる福音書　1章9,10節）

司式者　イエス様は、まことの光として世に来られました。

みんな　しかし、世は光を理解できませんでした。

聖書　創世記　3章　1-7節（聖書協会共同訳©日本聖書協会）

1神である主が造られたあらゆる野の獣の中で、最も賢いのは蛇であった。蛇は女に言った。「神は本当に、園のどの木からも取って食べてはいけないと言ったのか。」2女は蛇に言った。「私たちは園の木の実を食べることはできます。3ただ、園の中央にある木の実は、取って食べてはいけない、触れてもいけない、死んではいけないからと、神は言われたのです。」4蛇は女に言った。「いや、決して死ぬことはない。5それを食べると目が開け、神のように善悪を知る者となることを、神は知っているのだ。」6女が見ると、その木は食べるに良く、目には美しく、また、賢くなるというその木は好ましく思われた。彼女は実を取って食べ、一緒にいた夫にも与えた。そこで彼も食べた。7すると二人の目が開かれ、自分たちが裸であることを知った。彼らはいちじくの葉をつづり合わせ、腰に巻くものを作った。



## 《先週のメッセージより》2023年2月19日

「これだけしか／こんなにも」より

牛田匡牧師

聖書 ルカによる福音書 9章 10-17節

今回のお話は、4つの福音書に記されている「5つのパンと2匹の魚」のお話でした。5000人ほどの人々が、それを食べてなお余ったパン切れが12籠にあふれたというのですから、一体どのようにパンと魚が増えたのか、またどうやって分けたのか、などよく分からないことだらけの不思議なお話です。ですが、むしろここで注目したいのは、「お腹を空かせた大勢の群衆」という目の前にある課題、現状に対する弟子たちとイエス様との向き合い方の違いです。

弟子たちは「困りました。先生どうしましょう」とイエス様に相談し、「私たちはこんな寂しいところにいて、何もできることはありません。ですので、いったん解散させて、各々で食料を調達させましょう」と言いました。「自己責任で調達してください」ということです。しかし、一方のイエス様は「あなた方の手で、食べ物をあげなさい」と答えられました。弟子たちが5000人分の食料を持っていないことも、それだけのお金を持っていないこともイエス様はご存じでした。にもかかわらず、何故そんなことを言われたのでしょうか。それは、その後、イエス様が5つのパンと2匹の魚を取り、祝福し、裂き、配ることによって、皆が食べて満腹したことによって、それが不可能ではないということを示されました。

弟子たちや皆がいた「寂しい所」は、モーセに率いられた古代イスラエルの民が「出エジプト」で放浪した「荒れ野」であり、イエス様が悪魔から誘惑を受けた「荒れ野」でした。手元の食料が尽きた時、神は民に天からのマナを降らせましたし、悪魔はイエス様に「石をパンに変えよ」と誘惑しました。この時も、弟子たちはイエス様によって、そのような奇跡が起こされることを期待していたのかもしれませんが、しかし、イエス様が選んだのは、自分が持てる「これだけしかない」ものを差し出し、それを皆で分かち合う道でした。

たとえ、一人一人が持っているものは、人前に出すのが恥ずかしいと思われるくらいに僅かなもの、全く役に立たないとしか思えないようなものであったとしても、それらは神様からの恵みとして、確かに与えられている物であり、それらは隠してしまうのではなく、周りの人たちと分かち合おうとする時、それを必要かつ十分なものとして生かして用いて下さる神様の奇跡があるのではないのでしょうか。共にいて下さる神様に支えられながら、私たちは今日もここから小さな一歩を歩みだしていきます。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

YouTube



Facebook



LINE 公式アカウント



◎ 先週の報告 2月19日 降誕節第9主日礼拝

主日礼拝出席 大人2名 中継動画再生数 7回  
 献金 大人2,000円 感謝



◎次週 2023年3月5日(日) 受難説第2主日礼拝

(今年の「レント」(受難節・四旬節)は2/22~4/8です。レントの期間は、イエス様の生涯や十字架の意味、イエス様に従うとはどういうことかを考える時です)

招きの詞 ヨハネによる福音書 1章 4-5節

聖書 創世記 6章 5-22節

メッセージ 「それでも、最後に残るもの」牛田匡牧師

賛美歌 21-299番(©教団)、21-426番(©JASRAC)、21-306番(©P.D.)、

礼拝はインターネットで中継いたします。礼拝の中で2月の誕生者祝福式を行います。

◎お知らせ

- ・本日、礼拝後に、釜ヶ崎・いこい食堂支援のための「おにぎり作り」を行います。どなたでもどうぞご参加ください。
- ・大阪府の新型コロナ警戒信号は、「黄色」→「緑色」に変更されましたが、感染症予防には引き続き注意して、それぞれの方が参加しやすい形で礼拝にご参加ください。「週報」や「メッセージ(全文)」はホームページからダウンロードしていただくことができます。中継録画のメッセージ部分のみをカットした動画を、YouTubeでご覧いただくことも可能です。
- ・本日14時~16時半にかけて、日本キリスト教団八尾教会にて河内地区合同壮年会が開催されます。テーマは前回に引き続き「with コロナ期における教会活動を考える」です。始めに礼拝の時を持ってから、各教会で実施中の感染予防対策を聞き合います。その後いくつかのグループに分かれて、討議の時間を持つ予定です。
- ・3月4日(土)14時~16時半にかけて、カトリック梅田教会にて、講演会「統一協会と思想・信教の自由」(君が代強制反対キリスト者の集い大阪11th)があります。当日の来場参加は申込不要ですが、オンライン参加の場合は、

3月1日(水)までに  
 下記のQRコードか、  
 URLより申込み下さい。



<https://forms.gle/24s7zh7de2XW29ya6>

◎ 次週以降の行事予定

	メッセージ	行事
3/5	牛田牧師	ユークリスト・教会を考える会
3/12	岡嶋伝道師	
3/19	牛田牧師	
3/26	水谷牧師	誕生者祝福式・おにぎり支援

君が代強制反対キリスト者の集い大阪 11th

統一協会と思想・信教の自由

日時: 2023年3月4日(土) 13:30 開場 14:00~16:30  
 場所: カトリック梅田教会(サクラファミリア)

安倍元首相が統一協会「2世」の男性の襲撃を受けて死亡してから半年以上が経ちました。この襲撃がなければ、政府もマスコミも統一協会の深刻な反社会的問題、そして自民党と統一協会の癒着ぶりをかえりみなかったのは皮肉なことで、襲撃が民主主義を脅かしたというより、既に日本の民主主義は襲撃を生み出すほどの危機に陥っていたと言えるでしょう。

この集会では、長年統一協会の人たちの救出に携わってきた津崎英之牧師を招いて、統一協会の反社会的行動を生み出す「教義」の本質について語っていただきます。さらに、天皇制の中にも人々の心をコントロールしようとする類似の思考様式があるのではないか、ということについても共に考えたいと思います。この集いは2年ぶりに「リアル」集いするとともに、オンラインでも参加できるようにします。ぜひ多くの方のご参加をお願いします。(無料、席上献金あり)

講演: 「統一協会、そして天皇制」

講師: 漆崎英之さん 1956年、福井県生。1989年、神戸改革派神学校卒。1989年より日本キリスト改革派金沢教会牧師、日本キリスト改革派教会・大会「宣教と社会問題に関する委員会」委員、日本キリスト改革派中部教会「世と教会に関する委員会」委員長。1989年、教会内に日本宗教学問題研究所を設置し、統一協会に入信している方々の救出活動にあたる。「九条の会・石川ネット」呼びかけ人。



証言: 「学校は国家の洗脳の道具?」  
 証言者: 奥野泰孝さん  
 (元福音派教会員 元7中学校教員 君が代不応立脱退分科)



君が代強制反対キリスト者の集い大阪 11th 実行委員会  
 賛同: 日本キリスト改革派西部中会世と教会に関する委員会  
 日本基督教団大阪教区「教会と天皇制を考える」特別委員会  
 全国キリスト教学校人権教育研究協議会 グループ ZAZA  
 奥野さんを支える叫ぶ石の会 支援学校の君が代不応立応援団  
 福音主義キリスト者平和市民フォーラム 日本長老教会社会委員会  
 日本福音同盟 (JEA) 社会委員会 日本基督教団部解放セナ  
 日本バプテスマ連盟靖国神社特別委員会 NCC靖国神社問題委員会  
 増田国憲化反対福音主義キリスト者のつどい PFM@関西  
 『日の丸・君が代』強制反対大阪ネット NCC教育部 (前不同)  
 オンライン参加申し込み <https://forms.gle/24s7zh7de2XW29ya6>  
 お問い合わせ nobuharu0@gmail.com

オンライン参加申込 QRコード  
 オンライン参加申込み切 3月1日  
 来場参加は申し込み不要